2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　ジャパンクラフトホールディングス株式会社　　上場取引所　東 名
コード番号　　7135　　ＵＲＬ　https://www.jcraft-hd.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）堀　孝子
問合せ先責任者　（役職名）常務執行役員　企画部長　　（氏名）若園　和章　　ＴＥＬ　052-725-8815

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	3,024	△5.8	△80	－	△108	－	△117	－
2026年６月期第１四半期	3,209	△0.0	△87	－	△103	－	△125	－

（注）包括利益　2027年６月期第１四半期　△117百万円（－%）　2026年６月期第１四半期　△104百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	△3.14	－
2026年６月期第１四半期	△3.37	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	10,740	3,705	34.5
2026年６月期	11,025	3,956	35.7

（参考）自己資本　2027年６月期第１四半期　3,705百万円　2026年６月期　3,934百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	－	0.00	－	3.00	3.00
2027年６月期	－				
2027年６月期（予想）		0.00	－	3.00	3.00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,452	2.9	682	543.3	585	－	503	16.7	13.50

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）　　、除外　－社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	37,341,680株	2026年６月期	37,341,680株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	21,014株	2026年６月期	21,014株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	37,320,666株	2026年６月期１Ｑ	37,320,732株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業務等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（四半期連結貸借対照表に関する注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（重要な後発事象） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資の拡大や雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調が続きました。一方で、物価上昇の継続や金利の上昇、中東情勢に起因する資源価格の高騰等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する手芸業界及び出版業界においても、原材料価格の高騰によるコスト上昇に加え、手芸コーナーの充実を図る100円ショップとの競合激化や趣味の多様化、愛好者の高齢化によるユーザー減少など、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような状況のなか、当社は、グループ経営理念「『手づくり』を通して豊かな心を育み幸せを紡ぐ企業グループへ」とその理念に基づいたサステナビリティ方針を掲げ、環境・社会・ガバナンス面での各種課題への継続的な取組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献したいと考えております。このような考えのもと、足元の経営環境を踏まえ、2025年９月に発表した中期経営計画（2026年６月期から2028年６月期）の３つの骨子（手芸の裾野拡大、収益性の向上、グループシナジーの深化）に基づき、ライトユーザーの取り込み強化や、グループ各社の強みを生かした商品開発による他社との差別化、グループ各社の仕入・マーケティングの機能一元化に向けた取組みを推進しております。

事業別では小売事業が前年同四半期比42百万円の増収と健闘したものの、2026年５月１日付で株式会社ヴォーグ学園（以下、「ヴォーグ学園」という。）の全株式を譲渡し連結の範囲から除外したこと等から減収となりました。損益につきましては、事業構造上、第１四半期は閑散期のため例年赤字を余儀なくされる中でも当四半期は収益構造の改善が進み、前年同四半期比で営業損失は縮小いたしました。また、第２回新株予約権発行に係る諸費用を計上したことにより経常損失は拡大いたしましたが、第１回新株予約権の行使期間満了に伴う新株予約権戻入益の計上により、親会社株主に帰属する四半期純損失も縮小しております。

これらの結果、当第１四半期連結累計期間における経営成績は、売上高30億24百万円（前年同四半期比5.8％減）、営業損失80百万円（前年同四半期は87百万円の営業損失）、経常損失１億８百万円（前年同四半期は１億３百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失１億17百万円（前年同四半期は１億25百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。なお、「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおり、前連結会計年度にヴォーグ学園の全株式を譲渡したことにより、従来「出版・教育事業」としていた報告セグメントの名称を「出版事業」に変更しております。

（小売事業）

小売事業では、藤久株式会社が営む「クラフトハートトーカイ」ブランドを中心とした店舗とＥＣにおいて様々な施策に取組んでまいりました。

新規顧客獲得に向け、既存の手芸に囚われない商品の導入やＩＰコンテンツの活用を進めており、編み込むことでストラップやチャームが作製できるアウトドアコードや、キャラクター関連商品を中心に売上を牽引しました。

編み物関連商品も引き続き好調で、ＰＢブランド毛糸を強化するとともに、前連結会計年度より開始した編み物初心者向けの１ＤＡＹワークショップを定期的に実施し定番化することで、編み物の顧客層拡大を図りました。

さらに、７月から８月にかけては、夏休み期間中の子どもを対象としたキャンペーンを実施し、『品質のよいアイテムを安心価格で』をコンセプトとしたＰＢブランド「ハートプライス」の手芸キット等を使用したワークショップを実施いたしました。未来の潜在顧客層を育てるとともに、店舗での「体験」を強化することで、物販にとどまらない価値提供を推進し、店舗モデルの進化を図っております。

収益性の向上に向けては、引き続き市場調査を徹底し商品・サービスの価格適正化を順次進めるとともに、粗利確保に向けて割引制度の見直しを図り、収益構造の改善に取組んでおります。

店舗網については、中部地方で１店舗の閉鎖を実施し、当四半期連結会計年度末の店舗数は210店舗となりました。店舗数減少の一方で、各施策強化により１店舗あたりの来店客数は増加いたしました。

これらの結果、小売事業の売上高は25億53百万円（前年同四半期比1.7％増）、営業利益は１百万円（前年同四半期は20百万円の営業損失）となりました。

（出版事業）

出版事業では、株式会社日本ヴォーグ社（以下、「日本ヴォーグ社」という。）が、手芸関連書籍の出版を中心として様々な施策に取組んでまいりました。

ヴォーグ学園の全株式を譲渡したことにより前年同四半期比では減収減益となりましたが、編み物及びソーイングを中心とした既刊本の販売が好調に推移したほか、2026年７月発売の『毎日使える パラコードストラップ』は増刷を重ね、売上に貢献いたしました。さらに、物流機能を見直し、仕入先を集約するとともにこれまで外部委託していた業務の内製化を実現する等、コスト削減に取組んでおります。また、ＥＣ部門の収益改善に向け、これまで分散していた販売・企画・情報発信の機能を一体化し、ＥＣ売上の拡大、直販比率及び営業利益率の向上を図ることを目的として、新たな部署を発足いたしました。商品・情報・体験を一体化した新たな価値を提供できる体制を整え、自社サイトでの販売強化と顧客利便性の向上に向け取組んでおります。

これらの結果、出版事業の売上高は４億91百万円（前年同四半期比31.5％減）、営業損失は21百万円（前年同四半期は19百万円の営業損失）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ２億84百万円減少し、107億40百万円となりました。流動資産は３億４百万円減少し、69億22百万円となりました。流動資産の減少は、商品及び製品が１億４百万円増加したものの、現金及び預金が１億86百万円、受取手形及び売掛金が１億１百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は19百万円増加し、38億18百万円となりました。固定資産の増加は、投資その他の資産が14百万円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ33百万円減少し、70億35百万円となりました。流動負債は43百万円増加し、52億15百万円となりました。流動負債の増加は、未払法人税等が58百万円、株主優待引当金が36百万円、その他流動負債が１億60百万円減少したものの、買掛金が１億５百万円、短期借入金が２億円増加したこと等によるものであります。固定負債は76百万円減少し、18億19百万円となりました。固定負債の減少は、長期借入金が80百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ２億51百万円減少し、37億５百万円となりました。純資産の減少は、配当金の支払１億12百万円及び当第１四半期において親会社株主に帰属する四半期純損失１億17百万円を計上したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年６月期の連結業績予想につきましては、2026年８月10日に公表いたしました「2026年６月期　決算短信」の通期連結業績予想からの変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,887,762	1,701,446
受取手形及び売掛金	806,423	704,950
商品及び製品	3,901,272	4,005,394
仕掛品	12,892	24,431
貯蔵品	3,449	2,709
その他	616,136	484,066
貸倒引当金	△428	△360
流動資産合計	7,227,509	6,922,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	723,394	719,482
土地	2,186,619	2,186,619
その他（純額）	36,411	43,992
有形固定資産合計	2,946,425	2,950,093
無形固定資産	46,990	48,934
投資その他の資産		
差入保証金	667,989	664,567
その他	136,821	154,545
投資その他の資産合計	804,810	819,112
固定資産合計	3,798,225	3,818,140
資産合計	11,025,735	10,740,779

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	522,192	627,302
電子記録債務	206,317	236,713
短期借入金	2,700,000	2,900,000
１年内償還予定の社債	40,000	30,000
１年内返済予定の長期借入金	334,128	330,930
未払法人税等	78,080	19,936
契約負債	304,818	276,272
賞与引当金	21,493	23,298
株主優待引当金	109,782	73,775
店舗閉鎖損失引当金	1,638	1,638
資産除去債務	2,488	4,691
その他	851,270	690,711
流動負債合計	5,172,210	5,215,269
固定負債		
長期借入金	507,842	427,508
繰延税金負債	446,965	454,434
退職給付に係る負債	355,333	354,652
資産除去債務	497,807	493,667
その他	88,587	89,735
固定負債合計	1,896,536	1,819,999
負債合計	7,068,746	7,035,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	194,406	82,387
利益剰余金	3,648,092	3,530,882
自己株式	△7,762	△7,762
株主資本合計	3,934,736	3,705,506
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	4
その他の包括利益累計額合計	12	4
新株予約権	22,240	－
純資産合計	3,956,989	3,705,510
負債純資産合計	11,025,735	10,740,779

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
売上高	3,209,284	3,024,578
売上原価	1,376,630	1,298,627
売上総利益	1,832,654	1,725,950
販売費及び一般管理費	1,919,791	1,806,739
営業損失（△）	△87,137	△80,788
営業外収益		
受取利息	1,372	1,799
受取配当金	197	140
受取保険金	219	405
その他	492	2,059
営業外収益合計	2,281	4,404
営業外費用		
支払利息	18,159	22,968
新株予約権発行費	－	8,392
その他	776	1,227
営業外費用合計	18,936	32,587
経常損失（△）	△103,792	△108,971
特別利益		
投資有価証券売却益	95	－
新株予約権戻入益	－	22,240
特別利益合計	95	22,240
特別損失		
固定資産除却損	0	－
災害による損失	－	2,356
店舗閉鎖損失引当金繰入額	－	717
特別損失合計	0	3,073
税金等調整前四半期純損失（△）	△103,696	△89,804
法人税、住民税及び事業税	20,033	19,936
法人税等調整額	2,161	7,469
法人税等合計	22,194	27,405
四半期純損失（△）	△125,891	△117,209
非支配株主に帰属する四半期純利益	－	－
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△125,891	△117,209

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
四半期純損失（△）	△125,891	△117,209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,084	△8
その他の包括利益合計	21,084	△8
四半期包括利益	△104,807	△117,217
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△104,807	△117,217
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2025年７月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	小売事業	出版・教育事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,509,998	699,285	3,209,284	－	3,209,284
セグメント間の内部売上高又は振替高	595	18,393	18,988	△18,988	－
計	2,510,593	717,679	3,228,273	△18,988	3,209,284
セグメント損失(△)	△20,505	△19,893	△40,398	△46,738	△87,137

（注）１　セグメント損失（△）の調整額△46,738千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△51,803千円及び未実現利益の調整額5,064千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

２　セグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2026年７月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	小売事業	出版事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,552,997	471,580	3,024,578	－	3,024,578
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	20,166	20,177	△20,177	－
計	2,553,008	491,746	3,044,755	△20,177	3,024,578
セグメント利益又は損失（△）	1,063	△21,515	△20,451	△60,336	△80,788

（注）１　セグメント利益又は損失（△）の調整額△60,336千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△61,624千円及び未実現利益の調整額1,287千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

２　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの名称の変更）

従来「出版・教育事業」の一部を構成していた当社の連結子会社でありましたヴォーグ学園の全株式を2026年５月１日付で譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、報告セグメントの名称を「出版事業」に変更しております。報告セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結貸借対照表に関する注記）

１．当座貸越契約（借手側）

連結子会社においては、運転資金の効率的な調達を行うため当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
当座貸越極度額	1,160,000千円	1,160,000千円
借入実行残高	700,000	700,000
差引額	460,000	460,000

２．シンジケートローン

当社においては、運転資金を安定的かつ機動的に調達することを目的として、2026年２月24日付で名古屋銀行をアレンジャーとする金融機関４行によるタームアウト型コミットメントライン契約を締結しております。

なお、これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
シンジケートローン契約極度額	2,700,000千円	2,700,000千円
借入実行残高	1,600,000	1,800,000
差引額	1,100,000	900,000

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自2025年７月１日 至2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自2026年７月１日 至2026年９月30日）
減価償却費	19,820千円	19,394千円

（重要な後発事象）

（第三者割当による第２回新株予約権の発行）

当社は、2026年８月26日開催の取締役会及び2026年９月29日開催の定時株主総会において、第三者割当による第２回新株予約権の発行について決議し、2026年10月１日に本新株予約権を発行いたしました。

（１）　割当日	2026年10月１日
（２）　新株予約権の総数	131,602個
（３）　発行価額	本新株予約権１個につき199円
（４）　発行価額の総額	26,188,798円
（５）　当該発行による潜在株式数	13,160,200株（本新株予約権１個につき100株）
（６）　調達資金の額	2,460,825,798円 （内訳）新株予約権発行分　26,188,798円 新株予約権行使分　2,434,637,000円
（７）　行使価額	185円
（８）　募集又は割当方法	第三者割当
（９）　割当予定先	合同会社ルビィ
（10）　行使期間	2026年10月２日から2028年９月30日 （但し、最終日が銀行営業日でない場合にはその前銀行営業日）
（11）　資金の使途	Ｍ＆Ａ及び資本・業務提携に係る費用として充当する予定であります。